



落四の教育

学校便り 令和4年11月号



新宿区立落合第四小学校
http://www.shinjuku.ed.jp/es-ochiai4/

実りの秋 心を豊かに育む

副校長 千葉 潤子

秋風が冷たく感じられる季節となりました。

先日は、開校90周年・開園60周年の記念式典を行いました。当日は、天気にも恵まれ、教育委員会や、区議会議員の皆様、歴代や区内の校園長先生等、地域の皆様や旧職員の皆様など、たくさんの方々にご参列いただき、晴れやかに終えることができました。プラスバンドのオープニングがら始まり、5・6年生の児童と年長の園児が代表で参加し、落合の歴史や未来の学校について発表しました。

懐かしい皆様にもお会いでき、和やかな温かな祝いの式典となりました。ありがとうございました。また、当日はPTAの皆様にもお手伝いいただきました。感謝申し上げます。学校は、皆様に支えられてこれからも歴史を紡いでまいります。今後ともご支援、ご協力よろしくお願いたします。

さて、最近の子供たちの様子をお知らせします。2学期に入り、生活科の校外学習や社会科見学など、学校から地域に出て学習する活動が活発に行われています。低学年は主に近隣のおとめ山公園や下落合図書館、氷川神社等で、自然に親しむ活動や、近隣施設の訪問が日常的に行えています。感染症の影響でまもなくならなかった教育活動が少しずつ従来のように戻ってきており、ありがたい思いでいっぱいです。異学年交流の遠足や、幼稚園とも幼小連携として、各学年が交流をもてるようになり、読み聞かせや落四音頭の練習など、様々に工夫した関わりが見られています。この様な子供同士の関わりは、多様な価値観を受け止めながら他者を尊重する心を育みます。学級の友人同士だけでなく、様々な人と関わり合いながら社会の中でよりよく生きていく力を蓄えていってほしいと思います。

また、今月は、11月12日(土)の学校公開で「道徳授業地区公開講座」を実施する予定です。2校時に全学級が道徳の授業を行い、3校時に体育館で講演会を予定しております。講師に本校卒業生である写真家の本城直季さんをお招きし、5・6年生と保護者を対象にお話をさせていただきます。先輩の活躍が、子供たちの夢や希望となり、自分の生き方に活かしながら明るい未来に向けてたくましく生きることを願います。このように様々な体験を通して豊かな心を育む教育活動に取り組んでまいります。

11月の行事予定

日	曜	行事予定
1	火	ふれあい月間始 社会科見学(4) S.C.
2	水	
3	木	文化の日
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	全校朝会 委員会
8	火	ブラインドサッカー(4) S.C.
9	水	
10	木	学校公開① S.C.
11	金	学校公開② 学校説明会
12	土	学校公開③ 道徳授業地区公開講座、講演会 3時間授業(11:45下校)
13	日	
14	月	全校朝会 もみじ読書旬間始 クラブ S.C.
15	火	
16	水	特別時程4時間授業(13:00下校)
17	木	避難訓練 S.C.
18	金	食育の日 地域協働学校運営委員会
19	土	
20	日	
21	月	4時間授業(13:15下校) S.C.
22	火	S.C.
23	水	勤労感謝の日
24	木	就学時健康診断 3時間授業12:30下校 S.C.
25	金	もみじ読書旬間終
26	土	
27	日	
28	月	全校朝会 展覧会準備(6) S.C.
29	火	S.C.
30	水	ふれあい月間終

同居する家族、兄弟又は親族に風邪症状等が見られた場合は、PCR検査を受ける前であっても、お子様の登校は控えてくださるようご協力願います。PCR検査を受けたら、学校に必ず連絡をください。

道徳地区公開講座

道徳主任 今清水 仁美

「特別の教科」として教科化されて5年目を迎えました。現在の道徳科では、「対話活動」や、「物事を多面的・多角的に考えること」を重視しています。子供たちには、「道徳の答えは一つではなく、人それぞれいろいろな考え方があって、そのどれも間違いではない。」と伝えています。

9月には、5年生で道徳科の研究授業をおこないました。「公平・不公平」をテーマに、対話活動を行いました。自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを受け止めたりするだけでなく、さらに友達の考えに対する自分の思いをしっかりと話している姿が見られ、講師の先生からもお褒めのお言葉をいただきました。今後も友達とたくさん対話することで、多様な感じ方や考え方に触れ、それを自分の生き方に活かしてほしいと考えています。

また、11月12日(土)の学校公開では、「道徳授業地区公開講座」を実施する予定です。

ここ数年は、コロナ禍により開催できませんでしたが、今年度は2校時に全校一斉に道徳の授業を行い、3校時に講演会を予定しております。講師に、本校卒業生である写真家の**本城直季さん**をお招きし、5・6年生と保護者を対象にご講演していただきます。皆様方にも足をお運びいただければ幸いです。

もみじ読書旬間

図書主任 長尾 崇嗣

本校では、読書旬間を年に2回設け、全校をあげて本に親しむ時間をとっています。今年度より、梅雨時の読書旬間を「あじさい読書旬間」、秋の読書旬間を「もみじ読書旬間」と呼び、読書に適した気候や季節をより意識できるようにしました。

「あじさい読書旬間」では、教職員がおすすめの本の紹介文を書きました。その紙は夏の終わり頃まで図書室に掲示されており、「先生のおすすめの本、借りて読んでみたよ」という声も実際に聞くことができました。

来る「もみじ読書旬間」は、全校児童が紹介文を書く番です。所定の用紙に好きな本をおすすめする文章を書き、絵も描きます。書くこと自体も大事な国語科の活動ですが、友達の紹介文を読むことで、普段はすすんで読まないジャンルの中にも宝物のような本があると知るきっかけになると考えています。この他、11月いっぱいには学年ごとに読んでほしい目標冊数・ページ数を設定しています。目標を達成すると図書委員会が作ったよつばんのしおりをもらえ、これを持っていると、2学期末まで図書室で通常より1冊多く本を借りることができます。

読書好きな児童の多い学校ですが、反面、絵本などの絵だけを見てページを次々とめくる児童も見られます。絵がなくても、自分なりに想像を膨らませることができる子になってほしいものです。